

Kanto Local Startup Frontier



NEDO ドリームピッチ

～地方大学発スタートアップ× VC Session～

日時：令和8年3月17日（火）13:00～16:00

会場：Tokyo Innovation Base (TIB)
（東京都千代田区丸の内3-8-3）



プログラム

NEDO ドリームピッチ

Part.1

～スタートアップとのトークセッション～

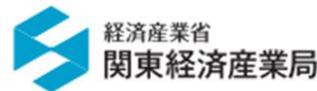
大学発スタートアップ及びベンチャーキャピタルを交えて、NEDO施策の活用方法等トークセッション形式で議論します。



SPHinX株式会社
代表取締役
荏原 充宏 氏



株式会社みらい創造インベストメンツ
執行役員・マネージングパートナー
高橋 遼平 氏



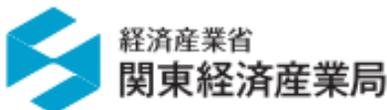
Part.2

関東地域の大学発スタートアップによるピッチ

筑波大学・千葉大学・新潟大学・長岡技術科学大学・信州大学・静岡県立大学
※詳細は裏面に記載



主催



登壇企業一覧

アーリー

筑波大学発！

株式会社FieldWorks

FieldWorks

小型農業ロボットの開発、製造、販売を行う。ほとんどのメンバーがロボコンに参加をしてきた経歴を持っており、日本の狭い農業現場に数多く残る手仕事をアイデアと技術で解決していく。現在までに、これまでになかったかたちの畑の除草用ロボット「ウネカル」「ウネマキ」を開発し、31都道府県でPoCを実施、9県で販売も行った。



シード

筑波大学発！

株式会社麹ラボ



タンパク質で低脂質なため栄養性が優れ、消費者の嗜好に合わせた魅力的な代替食品を実現できる。酒粕などの食品副産物を用いて麹菌を大量培養する技術を確認し、副産物の課題も同時に解決できる食料資源循環のプラットフォームを目指す。麹菌による“発酵”で、食の未来を持続可能なものに変えていく。



シード

千葉大学発！

株式会社 ジャパンプランツテクノロジーズ



植物工場に最適化した品種開発を行う。植物工場による高効率育種システムに加えて、フェノタイプ、環境条件、遺伝子情報を統合し、AIで解析することで品種選別の高速化にも取り組んでいる。品種を変えることで生産性を飛躍的に向上させ、植物工場の収益構造を根本から変革する。



シード

千葉大学発！

株式会社アブクラフト

※2026年5月設立予定

動物などの免疫応答を利用せずに、計算解析のみから抗体作成を行う。動物を使わないことで、抗体入手までの納期ならびに費用が抑えられる。また抗原分子の特定の領域を、標的認識部位に設定できることが大きな強み。当社では、狙った部位を捕捉できるヒト型抗体を、短期間でほぼ確実に提供する。



シード

新潟大学発！

Sugar Solution (仮)

糖鎖は、生命の今の状態を提示する「ステータス情報」を担う生体分子であり、情報分子としての重要性が高い。しかし解析に複雑で高度な技能を要するため、参入障壁が高く、市場の広がりは限定的であった。これに対して我々は、独自の糖鎖構造解析技術を基盤として、受託解析事業と自動糖鎖解析システムである「糖鎖シーケンサー」事業を行うことで、糖鎖解析を属人技から工業プロセスに変えることを目指す。



シード

長岡技術科学大学発！

ECHIGO MICROBES 株式会社

バイオものづくり領域において、バイオ製品の生産に必要な微生物（細胞）を見つけ出し、性能を向上させる「探索・改良(育種)」はノウハウ、時間、労力、資金が必要。私たちは超効率的スクリーニング技術を事業化することで、探索・育種サービスを展開し、顧客に対しバイオものづくり開発における圧倒的な期間短縮を提供する。



シード

長岡技術科学大学発！

株式会社パンタレイ PANTA RHEI

流体・レオロジーを起点に研究と事業をつなぐイノベーションプロデューサーである。流体现象の本質から課題を再定義し、風車開発、DAC、フードテック、へと展開してきた。技術コンサルや共同研究を通じて事業化の道筋を構築し、パッシブDAC開発はNEDOムーンショット事業（約19億円・5年間）の採択につながった。



アーリー

信州大学発！

精密林業計測株式会社



国土の約7割を占める森林では、境界未整備が原因で防災・森林整備・地域振興が進まないという深刻な社会課題がある。本ピッチではドローン・AI・独自特許を活用し、森林地籍調査を全国標準モデルへと転換する「木曾モデル」を紹介する。



シード

静岡県立大学発！

株式会社 Quantaris Lab

再生プラスチック原料には、原料由来の添加剤に加え、使用や再生工程で生成する熱分解物などの非意図的生成物が多様に含まれ、その網羅的把握が安全性評価や用途選定の阻害要因となっている。本課題に対し、我々はGCMSとFIDを組み合わせたデュアル検出のポストカラム反応熱分解GCを用い、定量的ノンターゲット分析（qNTA）を独自に開発。

お申し込み

申込URLはこちら



お問い合わせ

経済産業省 関東経済産業局 産業技術革新課

TEL : 048-600-0236

e-mail : bz1-kanto-startup@meti.go.jp